令和７年度　北海道帯広三条高等学校　学校経営シラバス

【スクールミッション】
・生徒の興味・関心、進路希望等に応じて柔軟に教育課程を編成し、個々の進路実現に向けて必要な能力や態度を身に付けた生徒の育成
・多様化する国際社会において主体的かつ協働的に取り組む資質・能力を身に付けた生徒の育成
・高い学力と自主・自律的な人間性を身につけ、社会に広く貢献する人間の育成

目指す学校像	育成を目指す生徒の資質・能力
1　生徒も教師も挑戦し続ける学校 2　文武両道をさらに進め、高い学力と健全な心身を育む学校 3　ﾀﾞｲﾊﾞｰｼﾃｨ(多様性)を大切に、幅広い進路に対応できる学校 4　地域から信頼され地域の期待に応えられる学校	1　知識と探究心を兼ね備え、他者と協働して問題を解決する力 2　創造的な思考力をもち、自身の考えを適切に表現して伝える力 3　自らの将来について主体的に考え、その実現に向けて粘り強く努力する力

学校教育目標

1　高い学力を身につけた知性ある人間を育成する。　　2　健全な判断力を備えた自律的な人間を形成する。
3　心身ともに健康で明朗な人間を育成する。

経営方針

「三条だからできる教育」の実践　～伝統の継承と発展　新たな一歩を踏み出そう～
(1)　育成を目指す資質能力の育成を授業改善に努め、系統的かつ組織的な教育活動を展開する。　**～生徒の自走力の育成を目指して**
(2)　教職員の相互理解を進め、個々の力を発揮しやすい環境と場を創り出す。　**～働きがいのある職場を目指して**
(3)　地域と協働した教育活動を展開し、生徒の自主性と学ぶ意欲を引き出し、進路実現へつなげる。　**～チーム三条の構築を目指して**

重点目標

授業改善による学力向上　～生徒の可能性を伸ばす多様な学びの充実～
1　主体的な学びによる学力の向上と進路実現
2　生徒の自主・自律を柱とする人間性を育む教育の充実
3　地域と協働した探究活動による学びに向かう力の育成

領域	対　象	中期目標	今年度の目標	目標達成のための評価の観点
教育活動	学習指導	主体的に学ぶ意欲と学力の向上	○学力の向上に向けた各教科での情報共有と蓄積 ○育てたい資質能力に基づいた授業の実践 ○授業規律を徹底し、学び合う環境を整える。 ○ICT やスタサプを活用した授業改善・個別最適な学習の推進 ○新学習指導要領並びに大学入試の多様化に対応した研修の推進と授業改善	□各教科内で情報交換を進め、教材の共有化を図れたか。 □コンピテンシーを意識した上で「主体的・対話的で深い学び」を進める指導に取り組むことができたか。 □授業規律の徹底を図り、学び合う環境を作れたか。 □ICT やスタディサプリを活用し個別最適な学習を推進することができたか。 □教科指導に係る研修を進め、授業改善につなげたか。
	生徒指導	自律性や社会性を培い、粘り強く主体的に行動できる生徒の育成	○教職員と生徒相互の信頼を基盤にした「成長を促す指導」の推進 ○いのちを大切にし、いじめを許さない態度の育成 ○生徒の自主・自律を促す取組及び生徒会の主体的な活動推進 ○文武両道を基本とする中での各種活動の推進	□アセスメントに基づく生徒理解をベースに、生徒一人ひとりに指導や支援を積極的に展開できたか。 □具体的な取組（人権教育、ネットリテラシー含む）がなされたか。 □生徒の自主・自律を促す取組が組織的・意図的になされたか。 □生徒の主体的活動を進めつつ生徒自身が時間の有効活用を進めることができるよう指導したか。
	進路指導	主体的な進路決定と個に応じた指導	○３年間を見通した組織的・系統的な進路指導体制の確立 ○単位制の特色を活かした進路指導の推進 ○大学入試の多様化に対応した進路指導の推進 ○地域と協働した探究活動プログラムの構築とキャリア教育の推進	□生徒、保護者と担任、年次、進路指導部と連携した進路指導ができたか。 □各年次での個々の目標を明確にさせた上で進路指導を実施したか。 □大学入試に関する情報収集とその共有に努め、組織的な指導を行ったか □探究活動コンソーシアムを中心に、外部人材を有効に活用できたか。
	健康・安全指導	心身の健康増進と自他を尊重する態度の育成	○生命を尊び、他を思いやる心と健康な心身を保持・向上する態度の育成 ○健康と安全に関する自己管理と非常時の際の身を守る危機管理能力の育成 ○生徒に関する日常的な情報提供・共有と組織的な支援 ○教職員の心身の健康が保たれる勤務環境の整備	□各教育活動で意識向上や態度の育成を図ることができたか。 □日常の生活指導の中で自己管理能力を、実際の場面に即した各種訓練で、危機管理能力の向上が図れたか。 □生徒支援部を中心に適切な情報提供と支援がなされたか。 □働き方改革への実効性のある具体的な取り組みができたか。
学校運営	信頼される学校づくりと地域との協働	開かれた学校づくりと地域との協働	○地域や保護者への教育成果の周知及び普及 ○地域と連携した教育活動の推進 ○学校評価に基づく改善の検証	□学校と保護者をつなぐメール配信や HP 等を使った情報発信が学校全体としてできたか。 □地域人材と協働した教育活動がなされたか。 □前年度の学校評価に立脚した取り組みを行ったか。
	組織運営	学校課題の共有と課題解決に向けた協働体制の確立	○学校課題の明確化と目指すべき姿の共有化 ○個々の能力を発揮できる役割分担と協働体制の確立	□学校経営計画に基づく分掌経営計画等が作成され、評価活動を適切に行ったか。 □教員理解に基づいた役割分担と協働体制が構築できたか。
	教職員の資質向上	質の高い教職員集団の育成	○授業規律を徹底し、授業力向上のための全校的な取組の実施 ○研修体制の充実 ○服務規律・法令遵守意識の涵養、並びに体罰・暴言等の根絶	□授業公開週間の設定とそれに基づく教科内研修が計画的に行われ、実践に結びつけることができたか。 □各種研修・研究会に積極的に参加したか。また組織として研修に参加しやすい形態の工夫がなされたか。 □各個人が日頃の言動を振り返る機会を設定できたか。